

オンライン授業の目的は? どのような形態があるの?



目的

全員が教室に集合できなくても授業(学びの保障)を可能にする

双方向通信による友だち、先生、学校とのつながりの場を保障する



- ①感染症対策等で、1つの教室に全員が集合できない場合も授業を行うことができます。
- ②長期休業等の際に友だち、先生、学校とつながる機会となり、学びの保障の側面だけでなく、メンタルケアの側面もあります。
- ③県内、国内の学校との交流だけでなく、海外の学校との交流もできるなど、多様性に富んだ授業も可能になります。

形態

鳥取県内での実践例を紹介します。

事例Ⅰ 全ての子供たちが家庭で授業を受講する



県東部での実践例

事例Ⅱ 複数教室に分かれて、担任の授業を同時に受講する



県中部での実践例

事例Ⅲ 家庭での受講と複数教室での受講を合わせて行う



県西部での実践例

オンラインでの授業は初の試みなので、課題もありましたが実施した先生方や子供たちからは次のような感想が聞かれました。

先生方の感想 「接続方法や、オンライン授業ならではの板書や話し方などのコツがあることがわかった。」

子供たちの感想 「臨時休業になっても授業ができるとわかって安心した。」「またやってみたい。」

「オンライン授業を実施してみたいが、どうしたらいいの?」「実施してみたけれど、こんなことで困った。」等々、要望、相談等ありましたら、西部教育局まで御連絡ください。



実践事例を知りたい!

YouTubeの「鳥取県教育委員会」チャンネルに、これまでのオンライン授業の取組の動画が掲載されています。ぜひ、御活用ください。
<https://www.youtube.com/channel/UC1-MNsEz72z3mUb61-Elr5A>

